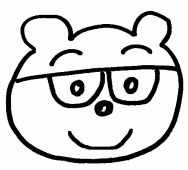
富岡市を元気に！
子どもたちに明るい未来を！

★ 平成19年度富岡市予算について
★この4年間を振り返って

〒370－2452
富岡市一ノ宮1627－3
TEL 64－1762 mohara55@aol.com

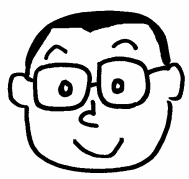
第21号 B 版 2007年3月23日発行

もはら正秀（まさひで）の市議会だより３月号



もはらさん、市の予算が決まったそうだけど、「一般会計」と「特別会計」の違いは何なのかな？
また、新年度に富岡市はどんな事業に取り組むの？

クマ吉くん、ちょうど平成19年度の予算が決まったところだから、「一般会計」と「特別会計」の違いや、新年度の事業について考えてみようよ。



平成19年度富岡市予算について

一般会計とは『市税を主な収入財源として、市の基本的な経費や事務事業を経理する会計』で、特別会計は『特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、法律や条例に基づいて設置している会計』のことです。

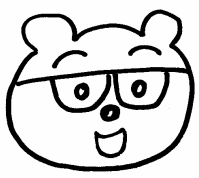
また、平成19年度の一般会計予算は歳入歳出175億円（千万円以下四捨五入、以下同じ）で、昨年度と比較しますと4億円の減少となります。現在、多くの地方自治体が国の三位一体改革による補助金・交付税の削減で、厳しい財政運営を強いられておりますが、富岡市新年度予算もその影響が色濃く出ています。しかし、予算の規模は小さくなりましたが、住みよいまちづくりのために、新たな取り組みも多い内容になりました。特に浄化槽整備推進事業は特色あるもので、市が高機能の合併浄化槽を設置し維持管理を行い、利用者は月々定額の使用料を支払うという新しい内容です。生活排水対策が遅れている富岡市にとって、大きな効果が期待されます。新年度の主な新しい事業は以下の通りです。

《富岡製糸場》
●入場料を有料化　●周辺道路の無電柱化に着手　●城町通り、製糸場東通りの設計委託
●駐車場、トイレ、進入道路の整備　●観光や物産情報を発信する観光交流センターの機能をもつ『まちの駅』の整備
《浄化槽整備推進事業》
●市が主体となって浄化槽の設置と維持管理を行う新事業
《その他》
●公園施設の利便性の向上を図るため、北部運動公園北ゾーン未整備地の芝生化　●和合公園のトイレ改修　●妙義山や鏑川などの自然と富岡製糸場などの歴史的・文化的資源を活かした特色ある『観光ネットワークづくり』の推進　●優良農地の保全と集約化
●学校給食共同調理場の用地買収および設計委託　●図書館の北玄関脇スペースを利用し、児童室を新たに増設
●成人保健事業に成人歯科検診を新たに追加し、生活習慣病の予防を強化
●消防法の改正に対応し、一人暮らしの非課税高齢者世帯に火災警報器を設置

特別会計は富岡市では10会計を設けていますが、主な特別会計と新年度予算は以下の通りです。

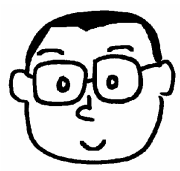
●国民健康保険事業　52億円　●老人保健事業　43億円　●介護保険事業　33億円　●公共下水道事業　8億円
●浄化槽整備推進事業　4億円　●水道事業　19億円　●ガス事業　9億円

なお特別会計の予算規模は170億円ですので、一般会計と合計した全体の予算規模は345億円となります。



国民健康保険料や水道料など、市税とは別に納めている事業が特別会計になるんだね。

国民健康保険事業に一般会計から2億円以上繰り出されるなど、一般会計と特別会計は別でも関係は深いんだよ。



★3月議会での もはら の一般質問★　提案型の一般質問で市民のための市政実現を！

『職員の民間派遣研修について』
★ もはら★平成19年度から2年間、10名の市職員が民間企業に派遣され研修を受けることが決まっておりますが、この目的、市が負担する費用、派遣先をお教えください。
● 市長●「職員の人間形成」が最大の目的である。また、派遣職員は10名なので給与として年間約6400万円かかるが、企業側にも負担をしていただくので、それを差し引くと4600万円程度となる。派遣先は、かんら信金・シルクカントリー倶楽部・ユウエツ精機株式会社・株式会社金沢化成・西毛病院・ココン・こまち の7事業所を予定している。
★ ★もはらの結論★★
効率的な行政運営のために民間の方法を学び、取り入れることは重要です。しかし、財政状況が極めて厳しい中、「人間形成」という目的のために、10人もの職員を派遣する必要があるのか疑問に思います。まずは「何を学び」、「どのように行政に活かしていくか」を明確にした上で、財政的に厳しい状況を考慮し、もっと少人数で始めるべきではないでしょうか。